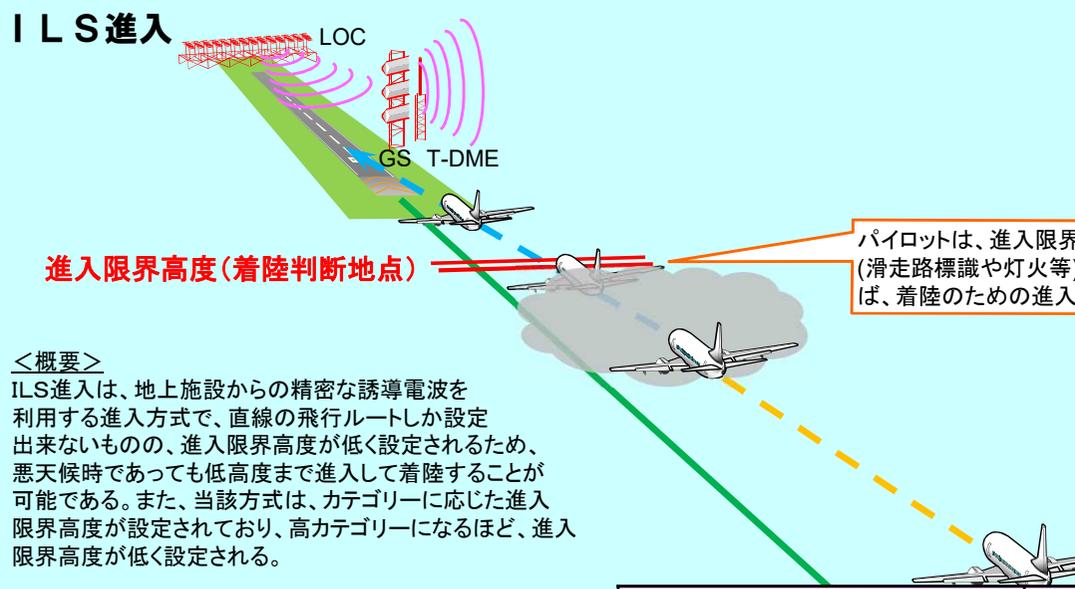


計器進入方式

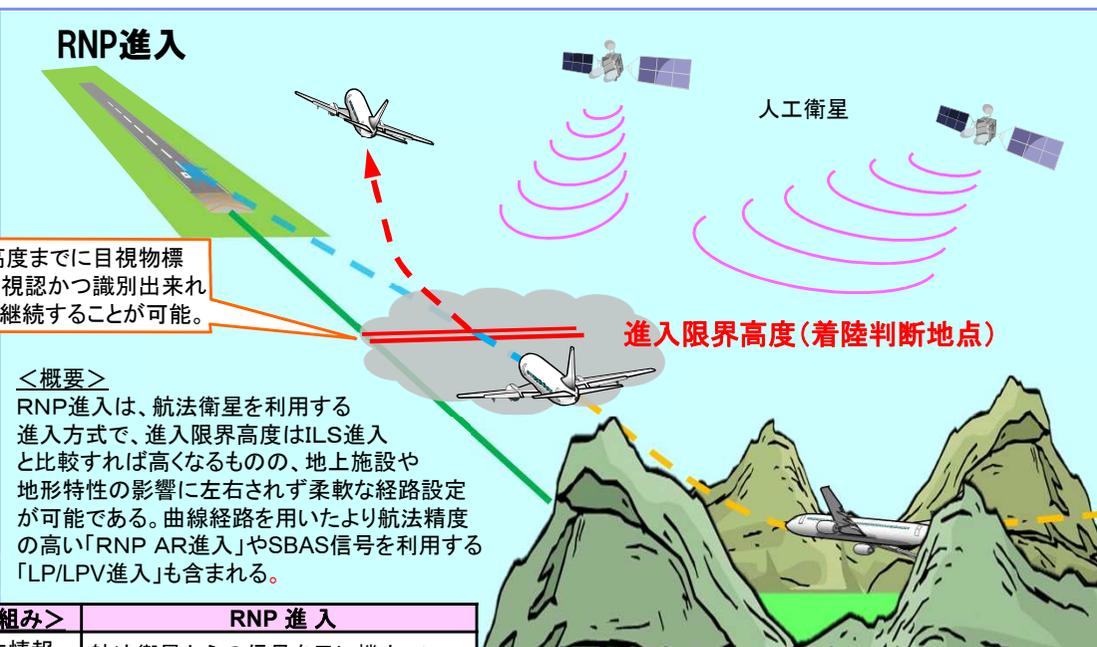
計器進入方式とは、IFR到着機が秩序よく進入し、悪天候の場合でも一定の地点まで滑走路に近づき安全に着陸するために必要な飛行経路や高度等を定めた飛行方法である。

具体的にはILSや人工衛星等を用いた方式が設定されているが、それぞれの方式に応じた国際的な基準に準拠して安全性を確保しつつ、空港毎の気象特性や周辺の地形等を踏まえた方式を設定することで就航率の向上等を図っている。

<主な計器進入方式>



パイロットは、進入限界高度までに目視物標(滑走路標識や灯火等)を視認かつ識別出来れば、着陸のための進入を継続することが可能。



ILS 進入	<仕組み>	RNP 進入
地上の誘導電波(LOC,T-DME)を受信	方位情報	航法衛星からの信号を元に機上コンピュータで算出
地上の誘導電波(GS)を受信	進入角情報	機上高度計(またはSBAS)から入手
機上高度計から入手	高度情報	

カテゴリー区分	導入 空港
LOC/T-DME	利尻、庄内、八丈島、大島、富山、但馬、出雲、隠岐、対馬、福江、徳之島、南紀白浜、久米島、与那国
CAT-I	稚内、紋別、女満別、旭川、中標津、釧路、新千歳、帯広、函館、青森、大館能代、秋田、花巻、山形、仙台、新潟、庄内、福島、百里、成田、東京、静岡、中部、名古屋、能登、小松、関西、大阪、神戸、広島、岡山、山口宇部、石見、美保、鳥取、高松、松山、高知、徳島、福岡、佐賀、北九州、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、種子島、奄美、那覇、宮古、石垣、下地島
CAT-II	新千歳、青森、成田、東京、中部、関西、熊本
CAT-III	新千歳、釧路、青森、成田、東京、中部、広島、熊本

区分	導入 空港
RNP進入	利尻、奥尻、旭川、札幌、新千歳、函館、釧路、花巻、秋田、庄内、山形、仙台、福島、百里、調布、東京、成田、新島、神津島、新潟、小松、富山、福井、名古屋、中部、大阪、関西、但馬、南紀白浜、隠岐、美保、広島、出雲、徳島、福岡、大分、対馬、長崎、福江、天草、鹿児島、種子島、屋久島、奄美、喜界、徳之島、沖永良部、与論、那覇、宮古、下地島、新石垣、北大東、南大東、多良間、与那国
RNP AR進入	稚内、女満別、釧路、紋別、中標津、旭川、帯広、函館、青森、大館能代、秋田、仙台、花巻、庄内、東京、八丈島、静岡、能登、松本、富山、広島、石見、鳥取、松山、高知、徳島、岡山、山口宇部、北九州、佐賀、大分、熊本、宮崎、奄美、徳之島、宮古、新石垣、久米島
LP/LPV進入	利尻、札幌、奥尻、函館、女満別、釧路、長崎、福江、壱岐、対馬、天草、屋久島、種子島